

医師は語る



医療法人社団健翔会
堀口医院 理事長
堀口 裕

病気を治療するための

5つのステップ

人生には限りがあります。決して無限ではありません。そう考えますと、一日でも多く健康で過ごし、一日でも多く満足感のある人生にしたいものです。

しかし、日々私たちはどんどん病気になってしまいます。その傾向は、根を詰めて頑張ろうとすればなお更起こります。万一病気になってしまったら、何といっても限りある人生ですから必ず治さなければなりません。そして再び健康になって満足した人生を続けるべきです。

【ステップ1】 病気を治したいと思つて いるか

病気になつて喜ぶ人など、一人もいません。ただ患者さんの中には、「とても消極的な人がおられます。「もうこのままでいいです」と言われると、そこから先へは進めません。「もう一度元気になりたい」そういう気持ちになつてほしいのです。(やまい)を治すのは、やはり患者さんの気持ち(ここる)です。

病気になつて喜ぶ人など、一人もいません。ただ患者さんの中には、とても消極的な人がおられます。「もうこのままでいいです」と言われますと、そこから先へは進めません。「もう一度元気になりたい」そういう気持ちになつてほしいのです。病気(やまい)を治すのは、やはり患者さんの気持ち(こころ)です。

専念できるか

病気になつたのだから、病気を治す努力を惜しみなく行うのは当然のことです。しかしいざ実践してみると、私が希望している努力と患者さんが行おうとしている努力には、大差を感じます。その理由としては一番多いケースは、「仕事があるから」、しかも立場的に自分は抜けられない、というものです。あるいは家族にどうして、自分が生活の柱になつているという場

方角を知つてゐるか

どうすれば病気を治せるか、その方角を知つていなければなりません。これを知つていないと、手当たり次第いろいろな治療をやってみるだけで、一向に治らないのです。治療内容が間違つているというのではありません。自信が持てないのです。自信を持つて実践できず、ただ不安な中で右往左往しているのです。自分の受けている治療が、治る方向を向いていることの確かさが必要なのです。それは病気を根こそぎ抜き取るための「自己防御力」を回復する 것입니다。

病気を治すための 5つのステップ

【ステップ1】

病気を治したいと思うか？

Yes |

【ステップ2】

【スクリプト】
病気を治せるのは自分だけ
だと理解しているか?—

Yes |

【ステップ3】

【スノウ】

知っています

Yes |

TCS▼

解説

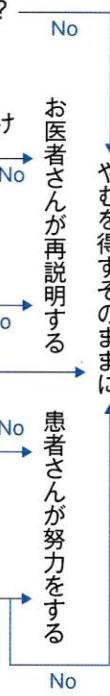
yes ↓

【ステップ5】 気持ちを前向きに

二二九

Yes ↓

ゴール



【ステップ5】
気持ちを前向きに
コントロールできるか

治もあります。どれもとても良く理解できることです。しかし治療に専念できなければ、治療にはなりません。

さて、以上述べてきましように、病気を治せるかどうかは患者さんにかかる今まで。お医者さんも一生懸命努力することで

多くここが最大の山場です。患者さんとしては「一日でも早く治したい」という気持ちです。「できれば来月には、遅くとも3か月も経てば完治したい」そういう気持ちです。それは早く元気になつて仕事もしたいし、外へも出かけて行きたいからです。でももつと本音をいえば、病気であることの不安や心配から、一刻も早く逃れたくなります。もし癌ともなれば、なお更です。その間病気というよりは、折れそうになるところと鬪い続けなければなりません。

堀口裕先生プロフィール

北海道出身。川崎医科大学医学部卒業。1992年香川県立看護専門学校卒業。

会 堀口医院を開院。現在堀口医院理事長 兼院長を務める。世界で初めて細胞の中を 調べる「細胞内検査」を独自に考案され、世界 各国で特許を取得。またその細胞の「エンディションを取り戻すための「還元電子治療」を独自に開発。2011年5月、世界 中医薬学会連合会、自然療法研究専門委 員会、副会長に就任。現在は、病気の根を治 調べる「自己防御力診断」と病気の根を治療する「還元電子治療」を駆使し、全国で 1万6千人以上の患者の治療に取り組む傍ら、「根源の医療」と呼ばれる新しい医療 を推進し、全国で講演活動を行っている。